

有効期間満了：2010年8月31日

| | |
|--------------------|---|
| 案件名 | 株式会社トノハタの梅干商品カーボンオフセット企画 ＜②ギフト向け商材 秀逸 南高梅シリーズ＞ |
| 申請者 | 株式会社トノハタ |
| 案件の概要 | 株式会社トノハタの梅干商品に関して(日本・紀州産)、梅の栽培・一次加工・二次加工・流通段階(卸先)への物流まで「トノハタの責任分」と考え、その段階の直接並びに間接CO2排出量計算に基づき、その分のカーボンオフセット費用を(株)トノハタが負担し、当該商品にその旨を表示する。 梅の栽培・一次加工・二次加工・流通段階(卸先)への物流までにわたるCO2排出量計算やカーボンオフセットの手続きは、株式会社 PEAR カーボンオフセット・イニシアティブに委託する。事前オフセットを行い、想定範囲を超えた場合には、追加分製造時にその分のオフセットを行う。 |
| 認証区分・タイミング | I-1 商品使用・サービス利用オフセット／事後認証 |
| カーボン・オフセットの主体(帰属先) | 申請者 |
| 算定範囲 | 梅の栽培・一次加工・二次加工・流通段階(卸先)への物流まで： 詳細は「認証単位の要件への合致状況」の表並びに、別添の報告書参照してください。 1. 梅の栽培 [梅農家への委託] ・ CO2 吸収量：梅の木による炭素固定効果 ・ N2O 排出量：窒素肥料の施肥による N2O の直接/間接排出 ・ CO2 排出量：梅農家の農作業に要する自動車利用 ・ CO2 排出量：梅農家で一次加工梅干製造用の塩の間接排出 2. 梅干しへの加工 [トノハタ本社工場] ・ CO2 排出量：工場における自動車利用 ・ CO2 排出量：工場における各種エネルギー消費 ・ CO2 排出量：パッケージ容器等製造等に要する間接エネルギー消費 ・ CO2 排出量：添加物製造輸送に要する間接 CO2 排出 3. 顧客までの輸送 ・ CO2 排出量：輸送に関するエネルギー利用 |
| オフセット量 / 算定排出量 | 36 t / 12.87t |
| クレジット種別 | 京都クレジット (種類：CER) |
| プロジェクト名 | Project 0391: Indur 7.5 MW Non-Conventional Renewable Sources Biomass Power Project |

| | |
|------|--|
| 無効化日 | 平成 21 年 6 月 22 日 |
| 情報公開 | <p><カーボン・オフセットに関する説明></p> <p>日常生活や経済活動において避けることのできない CO₂ 等の温室効果ガスの排出について その排出量に見合った分を他者の温室効果ガスの追加的削減で埋め合わせるという考え方です。</p> <p>トノハタの環境への取り組みとしましては、以下のとおりです。</p> <p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷を最低限に抑え、地域との共生をめざした事業活動をする。 ・法令等遵守の向上を図り、排水、廃棄物等の適正な処理を行う。 <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器包装リサイクル法に則り、その対象となる容器について、日本容器リサイクル協会に委託費用を負担しています。 ・調味液はリサイクル活用をし、工場内で発生する廃棄物は、産業廃棄物として処理業者に処理委託し、「マニフェスト保管」をしています。 ・品質検査により発生する使用済み薬品等は、分別保管の上、定期的に処理業者に処理委託をしています。 ・事務所の冷房温度を27度以上としています。 ・事務所の暖房温度を20度以下としています。 ・作業者がいない部屋はこまめに消灯をしています。 <p>【Web を通じた広報活動】</p> <p>梅の栽培・一次加工・二次加工・流通段階(卸先)への物流までの CO₂ および GHG 排出量レポートをアップすることで、カーボンオフセットの根拠の説明責任を果たすと同時に、食への関心事項の中に CO₂ 排出量への関心も喚起する。</p> <p><オフセットの対象(範囲)></p> <p>この紀州産南高梅は、梅の栽培・一次加工・二次加工、容器、配送までの直接的、間接的な CO₂ 換算の温室効果ガスを算定し、それをすべてオフセットしています。</p> <p><算定量・算定方法></p> <p>算定方法ガイドラインに則り、トノハタの梅干生産に必要な直接および間接の CO₂ 排出量を、保守的な方法で原則として積み上げ方式で推計したものです。</p> |

有効期間満了：2010年8月31日

| |
|--|
| <p>商品1パックあたりCO₂排出量×販売数量=12.87トン</p> <p><当該オフセットに用いたクレジット></p> <p>シリアル番号：CER IN - 000-000-036-219-981 ~ IN - 000-000-036-219-993</p> <p><クレジットタイプの説明></p> <p>京都クレジット(CER)</p> <p><クレジットの調達状況(調達期限・通知方法)></p> <p>すでに36トン分を調達、オフセット手続きを実施いたしました。</p> <p><プロジェクト情報></p> <ul style="list-style-type: none">・プロジェクト名:Project 0391: Indur 7.5 MW Non-Conventional Renewable Sources Biomass Power Project・プロジェクト実施国・実施地域:インドの南東部農村地域・プロジェクトタイプ:バイオマス発電・プロジェクト概要:農業をおこなうことによって発生する農業廃棄物(稲わらや、さとうきびの搾りかす)を燃料として発電を行っています・プロジェクト期間:排出権が発行される期間は10年間です・プロジェクトの排出削減・吸収量:35116トン/年(PDDより) <p><販売価格・その他支払いに関する事項></p> <p>販売価格:平均3800円</p> <p>有効期限:無し</p> <p>不良品のキャンセル対応:商品に瑕疵がある場合のみ交換対応</p> <p>引渡し時期:年間随時</p> <p>送料:(株)トノハタ負担</p> <p>支払い方法:取引基本契約に準拠</p> <p>返品期限:買取のため商品に瑕疵が無い限り返品不可ですが、季節商材のため、一部返品あり。</p> <p>返品送料:(株)トノハタ負担</p> <p><カーボン・オフセットを行ったと主張できる主体></p> <p>株式会社トノハタ</p> |
|--|